

「甲虫調査」改め「昆虫調査」を始めました！

活動説明会で昆虫調査のデモンストレーション！

今年度最初の活動説明会は「森の昆虫観察会」と題して雨にもかかわらず、多くの一般参加者で賑わいました。

これまでの甲虫調査では、主にホイホイトラップとピットフォールトラップを使用して固体数を中心に調べてきましたが、新たに今年度からは昆虫調査として再スタートするにあたり、種類を中心に調べるようになります。

調査方法としては今回の活動説明会で実施したルート観察法に加えて、特定の木を叩いて落ちてくる昆虫を調べるビーティング法や同じ場所・時間で調べる定点観察法、夜間ライトトラップなどを試していく予定です。

また、これに伴い今後は調査で同定できた昆虫のリストを作成し、カブ森の昆虫層がわかる昆虫図鑑のようなものを作成していきたいと考えています。

同定に関しては可能な限り森会で行っていきませんが、今回ご協力いただいた博多昆虫同好会をはじめ、他の団体のお知恵も拝借しながらコツコツと積み重ねていきます。



博多昆虫同好会との連携

今回は、個人的にも親睦のある博多昆虫同好会の江藤先生に「蝶」の講師として参加して頂きました。

ルート観察にあたり前日の事前調査にもご協力いただいて蝶の調査には生憎の天気でしたが、十数種類同定していただきました。

今後も可能な範囲で他団体の昆虫に詳しい方をお招きして昆虫調査の同定だけでなく、勉強会も行っていく予定です。家族連れ入会希望者が増えていくきっかけとして活用できるイベントにしていきたいと考えています。

新しい昆虫調査方法について試行錯誤中

昨年のライトトラップに引き続き今年度は以下の調査方法を試みて、来年度からの調査方法を確立していきます。

調査方法①ルート観察

今回の活動説明会をはじめ、観察会のイベント時にも実施してきた、特定のルートを移動しながら昆虫を見つけていく方法です。

調査方法②定点観察

今回 A 地区で江藤先生が担当された、1 箇所に留まって主に飛翔系昆虫の観察を行なう方法です。



調査方法③コドラート

これまで植生調査と兼用で設けていたコドラートですが、今後は、より昆虫調査に特化したコドラートを作って、いろいろな種類の食草を残していくことで、幼虫やバッタ類の調査を行ないます。

その他検討中の調査方法

- ・ ビーティング
木を叩いたり、揺すったりして落ちてきた昆虫を調査する方法
- ・ マレーズトラップ
飛翔系昆虫向けで網を使って中に入ってきた昆虫を捕獲するトラップ

同定できた個体でカブ森昆虫図鑑！？を作成

しばらくの間は参加者一人につき、毎回数種類は同定と撮影を行なってもらい、これまでの甲虫調査で判明している 60 種類を超える昆虫についても新たに撮影を行なっていく予定です。

どのような図鑑になるかは今後考えていきますが、同定と撮影は先にどんどん行なっていきます。

撮影の際は全体像に加え、同定のポイントも同時に撮影していければ、類似したもので後から見つかったものとの区別が可能となりそうです。

撮影の難しい飛翔系や小さい昆虫については撮影の技術も重要になってきそうです。



天候と安全対策について

これまでの調査でも天候によって調査結果がやや左右されてきましたが、トラップを使用しない調査方法については天候が天敵となりそうです。

今回のように雨が降っていると観察できる昆虫がある程度少なくなってしまうことは避けられませんので、その対策を今後考える必要があります。

また、これまでのように専門のメンバーだけでなく、なるべく多くの参加者に集まって頂けるように、毒をもった虫の情報や調査上で注意が必要なことなどの理解を深め、安全対策を行なっていきたい。

////////////////////最後に////////////////////

2005 年から開始した甲虫調査は今年で 9 年目になります。

これまでの調査も引き続き行なっていきますが、今年度からは「昆虫調査」として装いも新たにカブ森の昆虫層を探っていきたいと思います。

最後にご協力いただいた皆様誠にありがとうございました！ Special Thanks! (文責：世話役 新牛込誠)